

2026 年 9 月 8 日

金森産業株式会社

東南アジアを中心としたグローバルディープテックスタートアップの支援に特化した「Real Tech Global Fund 2」に LP 出資

～「人と技術をつなぐパートナー」として、その舞台を東南アジアへ～

金森産業株式会社（本社：富山県高岡市、代表取締役社長：金森 洋平）は、UntroD Capital Asia Pte Ltd（所在地：シンガポール、Managing Director：丸 幸弘）が運営する「Real Tech Global Fund 2（リアルテックグローバルファンド 2 号）」への LP 出資を実施しました。

Real Tech Global Fund は、人類が直面する地球規模の深い課題を解決すべく、東南アジアのディープテックスタートアップを支援するエコシステムの構築を目指すファンドです。2020 年 5 月に組成されたグローバル 1 号ファンドでは、日本と東南アジアの接続をテーマに、出資先の日本法人設立や日系事業会社との共同研究・事業提携・出資の促進、出向プログラムを通じた人材育成など、数多くの日本・東南アジア接続プロジェクトを実施しています。

※UntroD Capital Asia からのリリースはこちら：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000182.000036405.html>

当社は 1870 年の創業以来、「人と技術をつなぐパートナー」として、工業薬品、合成樹脂などの工業材料、ヘルスケア原材料を扱う化学品専門商社として、日本のものづくり産業を支えてまいりました。商社という立場は、単に材料を届けるだけのものではありません。技術を持つ企業と、それを必要とする現場とを結びつけ、双方にとって最適な形を探る役割を担ってきました。グループの安全性研究センターにおける化学分析・測定、シーエムシー出版を通じた科学分野の情報発信、金森財団による学術研究の助成もまた、人と技術をつなぐという同じ思想に立つものです。

今回の LP 出資は、その「つなぐ」という役割の舞台を、東南アジアへと広げるものです。同地域は、急速な経済成長と都市化が進む一方で、脱炭素や資源循環の実現、サステナブル素材の普及、エネルギー効率の向上といったサステナビリティ課題への対応がますます重要になっています。こうした課題に挑む技術と、日本のものづくりの現場とを結びつけることは、当社がこれまで国内で果たしてきた役割の延長線にあると考えています。当社が運営する化学業界向け情報サイト「Chematels」では、すでに Alterno 社や Accelerated Materials 社をはじめとする東南アジア発のディープテックスタートアップを取り上げ

ており、今後さらにその接点を広げてまいります。

当社は本出資を通じて、現地のスタートアップエコシステムに深く入り込み、東南アジアのディープイシューとそれを解決する技術を発掘してまいります。財務的なリターンにとどまらず、共同研究開発や事業提携を通じた新規事業の構築を目指しています。既存事業の延長線上にない領域へと踏み出し、日本と東南アジア双方の発展に寄与する事業を創出してまいります。

<本件に関するお問い合わせ>

金森産業株式会社 事業開発室（担当：山尾）

電話：0766-25-0123
